



出小だより

<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>

出雲崎小学校だより No.1

E-mail izumo-es@izumozaki.ed.jp

令和2年4月17日

ようこそ出雲崎小へ！
－いっしょに楽しい毎日を－



春らしい陽気となった7日。佐藤教育長様と保護者、職員が見守る中、24名の新入生が出雲崎小学校に入学しました。新型コロナウイルス感染症への対応のため、在校生が参加しないなど規模を縮小した形での実施となりましたが、新入生は大きな声で返事をし、長い話も最後まで静かに聞いているなどとても立派な態度でした。

さて、全校児童155名で令和2年度がスタートしました。まずは予定通りに学校を再開できたこと、校舎に子どもの声が戻ってきたことを嬉しく思います。学校が休業している1か月間は学校の役割と責任についていろいろ考えさせられました。学校へ来て、勉強をし、休み時間に友達と遊び、時にはけんかをしたり先生に叱られたり…そのような当たり前が子どもの成長に欠かせない大事な時間であることを痛感しています。学校再開に当たり、学校としての責任を果たすために、1日1日を大切に子どもと接していこうと職員一同心を新たにしています。有意義で充実した1年間となるよう今年度も変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

今年度の学校経営について

本来ならPTA総会にて説明させていただくところですが、今回はその機会がありませんので、紙面にて説明させていただきます。

教育目標「だれとでも仲良くする子」「すすんで学びとりくむ子」の具現に向けて、今年度も「子どもが生き生きと学ぶ学校」を重点目標に掲げました。

子どもが生き生きと学ぶために、学校として次のことに取り組みます。

1 安全・安心な場の提供

子どもが生き生きとするためには、まずは学校が安心できる場でなければなりません。子どもの社会的成長にとって、先生や友だちが自分を傷つける存在ではない（味方である）と認識することが土台となります。そのために、学校では体の安全はもとより心の安心を保障する場であるよう努めます。具体的には「いじめ防止対策基本方針」に基づき、子どもの人権を脅かす事案に対しては、学校全体で組織的に対応します。また、いじめの未然防止に力を入れるとともに、早期発見早期解決のためにスピード感を持って取り組みます。

2 我慢する心を育てる

学校教育の目標の一つは「社会でやっていける人材を育てること」です。社会には様々な人がおり、様々なルールがあります。自分が正しいと感じていても他の人にとってはそうでなかったり、他の人のために自分が譲らなくてはならないことがあったりします。その際に、「折り合い」をつけていくことが求められます。学校はその「折り合い」をつける力（我慢する心）を育てていく場でもあります。友だちのために学級のために先生のためにちょっぴり我慢して、お互いに気持ちよくいられるようにする…それが社会性を育てることにつながります。学校では、子ども同士のトラブルや意見の食い違いをピンチではなくむしろチャンスと捉え、子どもの自力解決を支援していきます。

3 自ら学ぶ学習

これからの社会に求められる力は「創造性」と「コミュニケーション力」です。そのためには自分で進んで考え、友だちと活発に議論する姿勢が重要です。学校では、そのベースとなる確かな学力の定着とかかわりあって学ぶ学習の実施に努めます。特に今年度から外国語の学習が本格実施となります。英語を使って外国の人とも積極的に交わっていこうとする態度を育てていきます。また、あいさつはコミュニケーションの基本です。「いつでも、どこでも、誰とでも」できるよう、継続して指導していきます。

4 保護者の皆様へお願い

学校から保護者の皆様へ下記の点についてご理解ご協力をお願いします。

- (1) 学校と保護者はパートナーの関係です。「学校がすべきこと」と「保護者がすべきこと（保護者でなければできないこと）」があります。学校の対応についてご不満やご意見があれば遠慮なくお知らせください。逆に学校からも保護者に対応をお願いすることがあります。
- (2) 活動的な子どものことから、学校においても怪我はつきものです。ですが、首から上の怪我（特に頭部の打撲など）は、時間が経ってから頭痛や嘔吐などの症状が現れることがあるため、原則些細な怪我でも保護者に連絡をさせていただきます。
- (3) SNSの指導をお願いします。特に最近はネットを介したゲームによる夜更かしや攻撃的な言動、仲間外しなどのトラブルが世間で増えているようです。SNSの扱いやネットゲーム依存に対しては十分な目配りと指導をお願いします。
- (4) 昨年度の学校評価の際に「たよりはカラーで」というご意見をいただきました。残念ながら今年度、予算が減額となったため、カラー印刷をすると予算が保ちません。カラー印刷は、教材の作成や学習のまとめなどで使用させていただきます。

転入職員紹介～はじめまして！どうぞよろしく！～

【五十嵐 悟】 妙高市立新井小学校より新任校長として参りました。出雲崎の豊かな自然と子どもたちの笑顔に囲まれて過ごせることをとても嬉しく思っています。がんばります！
【小林 麻衣】 柏崎市立荒浜小学校より参りました。人なつこくてかわいい子供たちと一緒にいろいろな体験をしていけるのがとても楽しみです。よろしくお願いします。
【伊藤 美架】 長岡市立日吉小学校より参りました。子ども隊と一緒に町探検をし、出雲崎のよさをたくさん見つけたいと思います。子どもたちのパワーに負けないようがんばります。
【野上 栞】 くるみ3組の担任となりました。子どもたちが「学校楽しい！」と言ってくれるよう、精一杯努めます。よろしくお願いいたします。
【丸山 朝美】 長岡市立寺泊中学校より参りました。子どもたちが元気に大きく成長できるよう安心安全なおいしい給食作りを頑張ります。毎週木曜日に勤務します。お願いします。
【山田 米子】 給食調理員として戻ってきました。子どもたちにおいしいと喜んでもらえるように、がんばって給食を作っていきたいと思います。
【長谷川弘子】 初めての仕事で戸惑うばかりですが、優しく見守ってくださる方々に感謝し、頑張りたいと思います。

令和成2年度職員紹介

校長	五十嵐 悟	栄養教諭（兼務）	丸山 朝美
教頭	桑原 浩史	教員補助員	織田 三恵子
1学年担任	小林 麻衣	教員補助員	岩田 映子
2学年担任	笠原 花澄	教員補助員	山後 加奈子
3学年担任	伊藤 美架	介助員	権頭 和美
4学年担任	増井 智恵子	介助員	伊藤 好美
5学年担任	清水 健一	介助員	渡邊 奈津美
6学年担任	目黒 博子	介助員	外川 ひとみ
くるみ1組担任	三浦 好	調理師	平沢 昌宏
くるみ2組担任	三國 益栄	調理員	山田 米子
くるみ3組担任	野上 栞	調理員	長谷川 弘子
くるみ4組担任	青柳 勇治	施設管理員	小林 憲雄
教務主任	本間 洋平	理科支援員	齋藤 信
生活指導主任	中澤 満幸	情報支援員	山田 豊
級外	笛田 悠稀	教員補助員（兼務）	増田 政子
養護教諭	中条 洋子	英語専科（兼務）	茂木 淳子
主事	千野 翔揮	ALT	Daniel Recupero

5月の主な行事予定

7（木）心臓検診（1年）、委員会
 8（金）ALT（3.5.6年）
 12（火）ALT（4.5.6年）
 14（木）3～6年6限実施
 15（金）ALT（3.5.6年）

20（水）巡回相談
 21（木）3～6年6限実施、尿検査2次
 26（火）ALT（4.5.6年）
 28（木）3～6年6限実施

※運動会は、2学期に延期します。

新型コロナウイルス感染症対応について

猛威を振るう新型コロナウイルスから子どもたちを守るために、学校としてできることに最大限取り組んでいきます。以下に現時点の対応を示します。

(1) ウイルスを校内に入れないために

- ① 毎朝の検温の実施
37度以上の熱、風邪の症状があったときは児童も職員も学校を休む。
- ② 外部の人と接する機会を減らす。
 - ア 学校行事や教育活動の中止または延期
 - ・交通安全教室（中止）
 - ・運動会（2学期に延期）
→5月23日（土）は週休日、25日（月）は通常授業とする。
 - ・出雲崎大祭（中止の連絡あり）
→6月17日（水）は通常授業とする。
 - ・親善陸上大会、親善水泳大会（小体連から中止の連絡あり）
 - ・特別支援学級交流会（中止）
 - ・修学旅行（延期を検討）
 - イ 保護者、地域の人との会議や交流会の中止
 - ・PTA総会、学級懇談会（中止）授業参観はフリー参観。
 - ・後援会理事会（中止）、小中合同後援会評議員会（中止）
 - ・スクールガード、ボランティア、おけさ、俳句、ゲートボール（中止）
 - ・クラブ活動は地域指導者を招聘しない形で実施。

(2) ウイルスを広げないために

- ① マスクの常時着用とこまめな手洗い
- ② 毎日の消毒の実施
 - ア 管理箇所の児童が頻繁に触る場所（ドアノブ、手すりなど）の消毒
 - イ 清掃時の机・椅子の消毒
- ③ 頻繁な換気の実施
休憩時間ごとに教室の換気、体育館使用時は換気、スクールバスの窓を開放
- ④ 3密を避ける
 - ア 1年生を迎える会の内容を再検討、朝の歌の中止、集会活動の中止
 - イ 授業の工夫及び指導内容の柔軟な組替
例；合唱指導は後回し、一人でできる運動中心、教師を仲立ちとした意見交換
 - ウ 校外学習の精選…バスに乗って出かける活動や施設見学は原則中止



(3) ウイルスに負けないために

- ① 児童の恐怖心に寄り添う。正しい知識を教える。
- ② 差別、偏見の芽を摘み取る
誰でもが感染者となり得る危険性の自覚
「ばい菌ごっこ」に類する行為への早期発見と指導
感染者、濃厚接触者が発生した場合を想定した事前の学級指導
- ③ 児童のストレスを減らす
笑いのある活動、適度な休憩、お楽しみ活動の工夫

(4) 今後の臨時休業措置を想定して

- ① 昨年度未履修の内容を確実に教える
- ② 国語、算数の内容を最優先
- ③ 免疫を高めるための体力作り（体育の時間の活用）

☆不安なことやご提案がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。